

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く
手をつなぎ のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



スポーツの秋・読書の秋!

昨日は2025年の“中秋の名月”でした。中秋とは旧暦の8月15日にあたり、平安時代の貴族は中秋の名月に月を眺めながら和歌を詠む「観月の宴」を開いて楽しんだそうです。宴を開くまではなかなかできないかもしれませんが、虫の声を聴きながらゆっくりと月を眺めてみると秋の日の心地よさを感じられそうです。

さて、“運動の秋”“読書の秋”“学習の秋”“食欲の秋”…。〇〇の秋とはよく使う表現ですが、学校生活の中にもたくさんの秋があります。

まず6年生が取り組んだ「スポーツの秋」、平戸市小学校陸上大会です。10月2日、市内の全小学校の最高学年がライフカントリー陸上競技場に集い盛大に行われました。市町村合併や新型コロナウイルス感染症を乗り越え、形を変えながら長年開かれてきた陸上大会も残念ながら今年度で最後の大会となりました。6年生は自分の立てた目標実現に向かい、一生懸命取り組んでいました。

選択種目である60mハードル走、ソフトボール投げ、走幅跳び、走高跳は練習の成果がよくあらわれていました。



本格的なスタートに緊張しながらも、息をそろえて上手にスタートをすることができていました。



リレーはゴール直前まで順位を争う好レースとなりました。最後まで全力で駆けぬけていました。



運動の良さは何ととっても目標に向かい努力すること、そして結果はどうあれ、全力で取り組んだ後のすがすがしい気持ちを味わうことにあると思います。一人一人がスポーツのすばらしさにふれることができた1日でした。

次に「読書の秋」です。先週は4年生を対象として、平戸図書館の方にブックトークをしていただきました。



今回のテーマは“身近なスポーツ・未来のスポーツ”でした。テーマにそった読書を行うことで子どもたちの読書の幅も広がってきます。人気のシリーズや同じ著者の本、自分が興味のある分野の本など、自分なりのテーマを決め、読書に励んでほしいと思います。

今年度リニューアルした図書室は、図書室の岡山先生のお話によると子どもたちに好評のようです。本は心の栄養とも言います。本をたくさん読んで、心にたくさんの栄養を蓄えてほしいと思います。